

密を避けるために避難の見直し、車中泊や親戚・友人宅への避難準備も

水害列島・日本に台風や集中豪雨で被害が多発する季節を迎えた。昨年10月の台風19号の接近で、市では初めて市民約4万人に避難勧告が発令され、6000人が指定避難所に殺到した。ごった返す避難所情報はSNSで拡散され多くの市民が知ることになった。今年は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難が必要で、避難行動が見直されている。密を解消するために試験的な試みとして7月に避難所開設訓練も実施され、本局も取材した(現場の様子を1日～15日まで放映中)。では、どんな行動をとればいいのか? 総合防災安全課の大島篤防災係長に聞いた。

① 洪水ハザードマップで自分の家がどんな色の所にあるのかを確認。青色系の場所は浸水ランクが高い。2階の軒下まで浸水する可能性がある ② 家族で話し合ってマイ・タイムラインの作成。家族構成に合わせて「いつ」「誰が」「何をするのか」を台風接近の3日前から時系列で作成確認し合う。体温計や消毒液、持って行く身の回り物の整理。マスクを忘れずに ③ 指定避難所が密集空間にならないように、車中泊や親戚・友人宅などへの分散避難の準備も。マンションの上の階の人や近くの親戚などとは事前に相談 ④ 防災無線が聞えない時は、市が配信する調布市防災・安全情報メールを活用する ⑤ 警戒レベル4の「避難勧告」と「避難指示」との違い。分かりづらいので国は来年度から「避難指示」に一本化する方針。勧告より非常に危険性が高い場合が「避難指示」となる。

最後に大島係長は「行政も情報を出しますが、市民の皆さんもNHKや気象庁の情報を積極的に活用して、自分の命は自分で守る行動をとって欲しい」と強調した。昨年の教訓を忘れないことが大切だ。(大泉 洋一)

～敬老の日に寄せて～ コロナ禍、元気に乗り越えましょう!

今年初頭より世界中に吹き荒れた新型コロナウイルス感染症も、未だに先が見えません。感染状況もウイルスの研究も日々変化しております。9月21日は、敬老の日。コロナ禍、じっとステーションしている高齢者が多く、コロナ以外の病気にかかる方が増えています。高齢者に一日も長く、健康な毎日を送って頂きたいと願って、市内の青木病院の医師、青木誠先生に、この時期何に気をつけたら良いのか、お聞きしてきました。

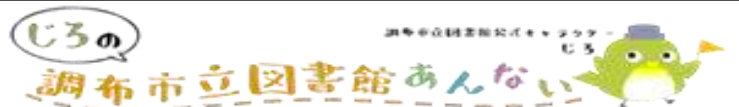
- ① かかりつけ医(ホームドクター)とかかりつけ薬局を持つ! 普段から自分の特徴をわかっている医師がいると、総合的に的確に判断していただけます。かかりつけ薬局があると、飲み合わせ、飲む量を薬剤師が教えてくれます。素人判断は、危険です。どうしてよいのか悩んだら、迷わずかかりつけ医に相談しよう!
- ② 具合が悪いと思ったら、手遅れにならないように即座に病院へ! 救急車は、☎119、迷ったら☎#7119(救急相談センター)まで。
- ③ 人の噂や根拠のない情報ではなく、正しい情報を! ⇒わからない時は、お医者さんに相談を!
- ④ 一家に一つ、温度計を! 熱中症にならないために、体感温度に任せるのではなく、客観的データを見ながら室内の温度管理をしましょう! エアコンはつけっぱなしに!
- ⑤ 適度でバランスの取れた食生活・水分補給・塩分補給に気をつけよう!
- ⑥ 『換気』と『マスク』についての注意。居住者の自分達だけであれば、エアコンでの室温管理が最優先であり、窓を開ける必要はありません。同様に、他人が近くに居ない状況であれば、無理にマスクを装着する必要はありません…むしろ外すべきです。間違っても『マウスシールド』をマスク代わりに使ってはいけませんとの事。

以上に気をつけ、コロナ禍を元気に乗り越えましょう!!!

(編集部)

【FC 東京応援記】

大ピンチである! FC東京は8月15日の名古屋戦から10月4日湘南戦まで、魔の15連戦中。しかも、橋本拳人に続き、室谷成もドイツのハノーファー96へ移籍。レギュラーの相次ぐ移籍に夏場の過密スケジュール…。しかし、このピンチをチャンスに変えるべく、期待の若手が続々とスタメンデビューだ。内田拓哉、中村拓海、品田愛斗、原大智。若武者が堂々とピッチに立ち、林や森重らのベテランが実戦の中で彼らの力を引き上げようとしている。勝利と成長。二つの果実を实らせるため、我々ファン・サポーターも共に戦いたい。(日比生)



図書館は映画フィルムを所蔵していませんが、撮影用台本、ポスター、プログラム、チラシなどを様々な映画関係資料を収集しています。資料は貸出せず、中央図書館へ来館いただいでの利用となりますが、思い出の映画やお気に入りの映画についてもっと知りたい!と思ったときは、映画資料室へぜひお越しください。新しい発見があるかもしれませんよ。



2020年9月 番組表



<調布市民放送局の番組を見ることができます>

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H

J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

	月	火	水	木	金	土	日
	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55
1日	① 災害避難所開設訓練 調布市立第三小学校でコロナ対策を踏まえ行われました。早速開設された受付では避難者が体温測定、消毒を行って密集を避けた3m四方の避難スペースに誘導され段ボールでベッドとパーテーションを設置。						
15日	② 調布 facebook 交流会～5000名達成記念オンライン飲み会 今年は、コロナ禍、IT を使ってオンライン飲み会をしました。その試みをご紹介します。 ③ リトルギャラリー：伊藤文子(ふみこ)さんの作品展「四季の押し花展」 身近なお花やコケを用いて四季を表現した、繊細で色鮮やかな押し花の作品をご覧ください。						
16日	① クリエイティブリユースでアート×富田菜摘「ものものいきもの」展 作品からは想像できない、空き缶や瓶のふたなど身近な廃材・素材を使用した大小様々な作品を展示。小学生の作品も展示されました。						
30日	② 木島平村「新鮮屋」のコロナ禍の取り組み 8月1日に調布市と長野県木島平村が締結した姉妹都市盟約は35周年を迎えました。木島平村のアンテナショップ「新鮮屋」は、コロナ禍、調布市内の大学生の生活を支援するため、5つの大学・7つの寮の約750人に、一人当たり2kgのお米を提供しました。						

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
9月	7日(放送)	宮本苑生監修詩の朗読:	今回は、服部 剛詩集『我が家に天使がやってきた』ダウン症を持って生まれた子供のことを綴った詩をお送りします。
	14日(再放送)	朗読:柴田紀恵子	
	21日(放送)	ゲスト:久保田紀之氏	セボンデルソール調布管理組合理事長の久保田紀之さんに、昨年10月12日(土)台風19号の根川の氾濫で浸水被害に遭われた時の状況とその後の取り組みを中心に話を伺いました。
	28日(再放送)	インタビュー: 柴田紀恵子	

HP

新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てくださいませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

📞 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局)(2015年～)



カードのすり替え手口と 医療費還付金詐欺が多発

警視庁の発表では、今年上半期の特殊詐欺の被害で最も多いのが、キャッシュカードを封筒に入れさせ、隙を見てすり替える手口。「調布署管内でも上半期でこのカードすり替え手口が14件も発生しています。管内では、医療費還付金詐欺も多いので注意」と、調布警察署(電話042-488-0110)が注意喚起。

大切な命を守るために 9月9日は救急の日

昭和57年(1982年)から9月9日は救急の日。大切な命を守るために決意を新たにす日です。昨年は約38秒に1回救急車が出動しています。「病院か救急車？迷ったら#7119に電話相談して下さい。24時間年中無休で相談を受け付けています」と、調布消防署(電話042-486-0119)が呼び掛け。



<ご意見・ご感想をお待ちしています>

●メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ●☎070-5576-1429

●郵便〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付

〔編集・発行〕NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14